

# 24年の米国株はハイテク株中心に上昇継続へ



シニア・ストラテジスト 石黒英之

## ポイント① 金融政策転換後の株価は堅調傾向

23年の米国株相場は、インフレ鈍化やそれに伴うFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ終了観測を背景に、22年とは一転して大幅な上昇となりました。米景気後退や企業業績の下振れが回避されたこと、年末にはFRBの早期利下げ期待が高まったことなどもあり、NASDAQ100が史上最高値を更新するなど米国株の先高観が高まっています。

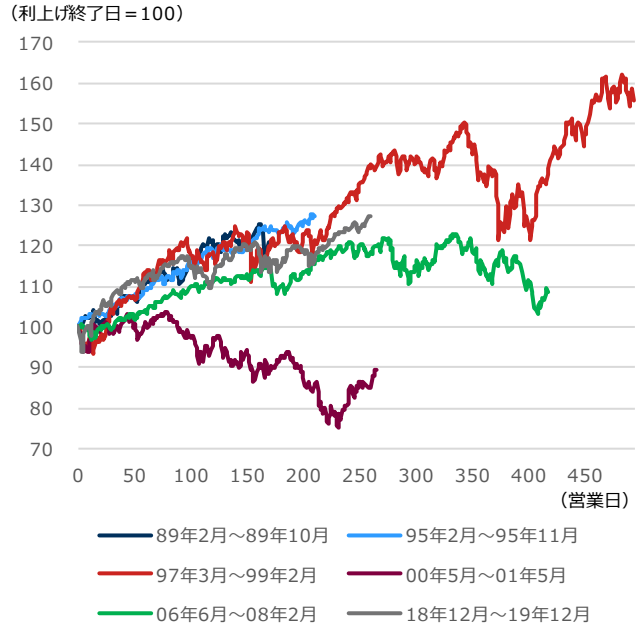
12月に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では、24年に3回の利下げが行なわれる見通しが示され、24年年央から予防的な利下げの実施が想定されます。89年以降の利上げ終了日から利下げ開始後100営業日までの米国株の動きをみると、00年のITバブル崩壊時以外は概ね株価は堅調に推移する傾向がありました（右上図）。

## ポイント② 米ハイテク株主導の上昇相場継続へ

FRBによる利上げの累積効果が時間差をもって示現し、金利コストの上昇により信用リスクが高まる可能性がある点には注意が必要です。ただ、FRBは金融機関の経営安定化に向けた安全網の整備を行っており、足元のクレジット市場は平穏を保っているなど、現時点では信用リスクが急速に高まる状況ではないようにみえます。米家計の金融資産や負債比率が良好な状態にあることを考えると、米経済の底堅さとインフレ鈍化が併存する「適温経済」を背景に、米国株が選好されやすい地合いは継続すると考えられます。

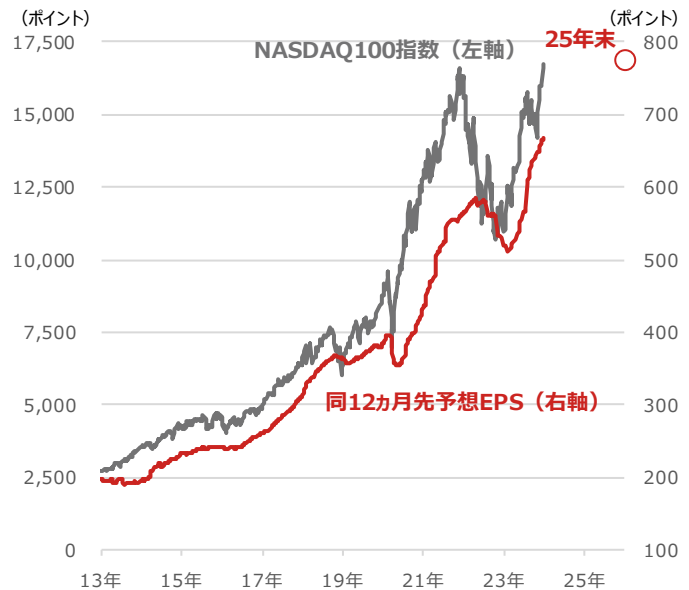
米国株のなかでより上昇が見込まれるのがハイテク株主体で構成されるNASDAQ100です（右下図）。生成AIの普及拡大や世界的なテクノロジーサイクルの底入れ反転機運の高まり、米長期金利の安定などを背景に、24年の米国株相場はハイテク株主導の上昇が続くと想定されます。

### 米利上げ終了日から米利下げ開始後100営業日までのS&P500種株価指数



期間：1989年以降の利上げ終了日から利下げ開始後100営業日（計6回）、日次（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

### NASDAQ100と同12ヵ月先予想EPS



期間：2013年1月4日～2023年12月18日、週次  
・○印は2025年末のBloomberg予想（2023年12月18日時点）  
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

\*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一の見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。